

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	実践英語III	
科目基礎情報						
科目番号	0056		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	機械・電気システム工学専攻 (制御情報工学コース)	対象学年	専2			
開設期	前期	週時間数	2			
教科書/教材	Complete Guide to the ToEIC Test. (Cengage Learning) Bruce Rogers. / 速読用配布プリント / NetAcademy					
担当教員	金城 博之					
到達目標						
<p>1. TOEIC対策を通して動機づけを行うとともに、TOEIC受験に必要な英語力を身につける。</p> <p>2. 多くの英文に触れ、英文に慣れ親しむ。特に一般的な内容の英文を全員がWPM120以上を目指す。</p> <p>3. 毎分120語程度で話された身近なことや科学に関することの内容を理解できる。</p>						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	TOEICに必要な基礎的な英語力を十分身につけている。		TOEICに必要な基礎的な英語力を概ね身につけている。		TOEICに必要な基礎的な英語力が身につけていない。	
評価項目2	一般的な英文をWPM120の速度で八割程度理解できる。		一般的な英文をWPM100程度の速度で八割程度理解できる。		一般的な英文を八割程度理解するためにWPM80程度の速度でしか理解できない。	
評価項目3	毎分120語程度で話された身近なことや科学に関することの内容を十分理解できる。		毎分120語程度で話された身近なことや科学に関することの内容を概ね理解できる。		毎分120語程度で話された身近なことや科学に関することの内容を全く理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
JABEE E-2						
教育方法等						
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学期の前半は、TOEIC対策として、実践英語Ⅰ・ⅠⅠで使用した教科書のうち、Lesson 3, 4, 6, 7を中心に行う。 ・学期の後半は、実践的な場面を想定し、会話の訓練を行う。 ・学期を通して速読演習を行う。時間を計測し、伸びを記録する。 					
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず辞書を持参すること。ただし携帯電話・スマートフォン等を辞書として用いることを禁止する。 ・速読演習は欠席等の場合は必ず自宅で行うこと。 ・実践英語Ⅰ・ⅠⅠで使用した教科書で指定するページを自宅で行うこと。 					
注意点	<p>中間試験・定期試験90%、課題レポート10%を目安として評価する。</p> <p>再試験は原則として行わない。</p> <p>評価基準：60点以上を合格とする。</p> <p>本科目は学修単位であるので、授業時間以外での学修が必要であり、これを課題として課す。自学でNet Academy 英文法コースを進めること。</p>					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Introduction	授業方針を理解する。 語学の学習姿勢を理解する。		
		2週	Lesson 3 Short Conversation ①	出題形式と解法の観点を理解する。		
		3週	Lesson 3 Short Conversation ②	TOEICに使用される基礎的な語彙・文法を理解する。		
		4週	Lesson 4 Short Talks ①	長い英文を聞いておおむね理解できる。		
		5週	Lesson 4 Short Talks ②	長い英文を聞いておおむね理解できる。		
		6週	Lesson 6 Passage Completion ①	文法的な項目を理解し、文脈を読み取れる。		
		7週	Lesson 6 Passage Completion ②	文法的な項目を理解し、文脈を読み取れる。		
		8週	Lesson 6 Passage Completion ③	文法的な項目を理解し、文脈を読み取れる。		
	2ndQ	9週	Lesson 7 Short Reading ①	様々なジャンルの英文を読んで理解できる。		
		10週	Lesson 7 Short Reading ②	様々なジャンルの英文を読んで理解できる。		
		11週	Lesson 7 Short Reading ③	様々なジャンルの英文を読んで理解できる。		
		12週	Review Test ①・②	既習項目を用いて解法に至ることができる。		
		13週	会話活動：比較表現	インフォメーションギャップを利用し、英語だけで違いを説明し、理解することができる。その英語表現を学び活用することができる。		
		14週	会話活動：Show and Tell	説明する際に用いる英語を学び、用いることができる。説明する英文を聞いて理解できる。プレゼンの基礎を理解し、実行できる。		
		15週	会話活動：ディベート①	ディベートを通して、論理的な英語を学び、活用することができる。		
		16週	会話活動：ディベート②	ディベートを通して、論理的な英語を学び、活用することができる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	英語のつづりと音との関係を理解できる。	3	
				英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。	3	
				英語の発音記号を見て、発音できる。	2	
				リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。	3	
				語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。	3	

			文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。	3	
			文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。	3	
			中学で既習の1200語程度の語彙を定着させるとともに、2600語程度の語彙を新たに習得する。	4	
			自分の専門に関する基本的な語彙を習得する。	2	
			中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。	3	
			高等学校学習指導要領に示されているレベルの文法事項や構文を習得する。	3	
		英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
			説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
			平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
			日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
			母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
			毎分100語程度の速度で平易な物語文などを読み、その概要を把握できる。	3	
			自分や身近なことについて100語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	
			毎分120語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できる。	4	
			自分や身近なこと及び自分の専門に関する情報や考えについて、200語程度の簡単な文章を書くことができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	0	10	100
基礎的能力	90	0	0	0	0	10	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0